

【中学校 国語】

<p>国語 A (知識)</p>	<p>成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に理解してもらえるように資料を用いたり，間の取り方に注意して話すこと。 ・手紙の形式を理解して書くこと。 ・比喩を手掛かりに文脈をたどり，内容を理解すること。 ・聞き手や場面を意識して，適切な語句を選択して話すこと。 ・伝えたい事柄を明確にして書くこと。 ・必要な情報が相手に伝わるように話すこと。 ・語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使うこと。 ・歴史的仮名遣いを現代的仮名遣いに直して読むこと。 ・ひらがなで表記された文字をローマ字に直すこと。 <p>課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文脈に即して漢字を正しく書くこと。 ・比喩と言葉を結び付けて，表現の仕方を理解すること。 ・相手に応じて文章を書き直すこと。 ・目的に応じて必要な情報を読み取ること。 	<p>国語 B (活用)</p>	<p>成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章における語句の意味を捉えること。 <p>課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の発言を注意して聞き，自分の考えを書くこと。 ・物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え，自分の考えを書くこと。 ・物語の展開や表現の特徴を捉えること。
----------------------	--	----------------------	---



学校における学習活動の改善方策例

聞く・話す・書く，多様な言語活動を授業に位置付ける。

必要な事柄を明確にした上で，情報を取捨選択しながら読ませる。

既習の漢字を繰り返し指導するとともに，部首に着目させたり，同じ漢字を用いた他の語句と関連させたりするなど，漢字についての理解を深めさせる。

相手を意識して，相手に応じた話題を取り上げながら手紙を書かせる。

自分の体験や読書経験などに基づいた例を挙げながら，自分の考えを書かせる。

自分なりの解釈に基づき，声に出して読ませる。

語りと登場人物との会話の表現の違いや特徴を捉えさせて音読させる。

学校の学習を生かした家庭学習の参考例

文中の意味と結び付けたり，漢字がもつ意味を考えながら漢字を読んだり書いたりしましょう。

何を目的に読むのかを明らかにして読み進めましょう。

自分なりの解釈に基づき，声に出して文章を読む練習をして見ましょう。

テレビや新聞，図書などの情報は，賛成・反対など自分の立場を明らかにしながら受け止めてみましょう。